

# 奈良国立文化財研究所要綱

## I 事業概要

### 1. 研究普及事業

#### 公開講演会

- (1) 1993年5月15日 第72回公開講演会  
「漆のついた土器—奈良時代漆の工房の一側面—」  
玉田芳英
- 「古代建築における庇について」  
島田敏男
- (2) 1993年10月30日 第73回公開講演会  
「考古学から見た古代の金属生産」  
小池伸彦
- 「科学で探る古代金工の世界」  
村上 隆

- (3) 1993年9月25日 平城宮跡第243次  
(東院地区) 玉田芳英
- (4) 1993年11月13日 石神遺跡第12次 橋本義則
- (5) 1994年3月19日 本薬師寺東塔西南部 花谷 浩

#### 現地見学会

- (1) 1993年4月22日 平城宮跡第239次  
(馬寮東方地区) 中村慎一

#### 現地説明会

- (1) 1993年6月12日 平城宮跡第241次  
(造酒司) 浅川滋男
- (2) 1993年7月10日 藤原宮第71次  
(東方官衙地区) 松本修自

#### 平城宮跡資料館・遺構展示館(見学者数)

区 分	資 料 館	遺構展示館	計
1993年	61,700	69,574	131,274
累 計	1,298,100	1,640,804	2,938,904

資料館は1970年度、遺構展示館は1963年度以降の累計

## 2. 1993年文部省科学研究費補助金による研究

新 継	種 目	研 究 課 題	研究代表者	交付額(千円)
新	重点領域(1)	遺跡探査法の総合的開発研究	西村 康	6,000
新	重点領域(2)	集落・埋納遺跡の探査	西村 康	8,300
継	一般研究A	寝殿造の総合的研究	牛川喜幸	2,400
新	〃	解析図化およびコンピュータ・グラフィックによる古代都城跡の比較研究	町田 章	10,000
継	一般研究C	蔵書印からみた寺院書跡資料の伝来に関する研究	綾村 宏	300
継	〃	古代園池の立地と形態	高瀬要一	800
継	〃	伝統的木造建築の構造安定性に関する研究	内田昭人	700
新	〃	都城・国分寺・国府・三関・その他の寺院における八世紀同範軒瓦の系統的研究	山崎信二	800
新	〃	埋葬のあり方による弥生社会の年齢階梯に関する研究	深沢芳樹	600
新	〃	庭園文化におけるイタリアと日本の比較に関する研究	本中 真	1,100
新	〃	日本古代度量衡の研究—容量篇—	西口寿生	900
新	〃	年輪年代法による弥生・古墳時代の暦年代の解明	光谷拓実	2,000
新	奨励研究A	良渚文化玉器の研究	中村慎一	800
新	〃	古代都城における宅地内建物配置の規格性的研究	小澤 毅	800
新	〃	古代日本における外交機構の研究	森 公章	900
新	〃	焼失竪穴住居址の構造復原—先史建築の実証的復原研究へむけて—	浅川滋男	800
新	〃	漆付着土器の研究	玉田芳英	900
新	〃	畿内の竹状模骨丸瓦に関する基礎的研究	花谷 浩	800
継	試験研究B	わが国古代の稲作農耕研究における生物考古学的手法の開発	工業善通	4,000
継	国際学術研究	考古遺物の材質・技法に関する分析の比較研究	沢田正昭	4,700
	計	20件		47,600

重点領域研究(1)	(新規)	1件	奨励研究(A)	(新規)	6件
〃(2)	(新規)	1件	試験研究(B)	(継続)	1件
一般研究(A)	(継続)	1件	国際学術研究	(継続)	1件
〃(A)	(新規)	1件	計		20件
〃(C)	(継続)	3件			
〃(C)	(新規)	5件			

### 3. 飛鳥資料館の運営

#### 展 示

第一展示室 常設展示

増築工事のため1993年12月5日まで開館

1993年12月6日より1994年6月30日まで閉館

#### 特別展示等

春期・秋期共増築工事のため中止

#### 特別講演会

増築工事のため中止

#### 普 及

インフォメーションルームにおいて観覧者の質問に応じている (1993年4月1日～1993年12月5日)

入館者数 (1993. 4. 1～1993. 12. 5 開館日数215日)

区 分	個人観覧	団体観覧	有 料	無 料	合 計
一 般	26,344	11,482	90,541	5,061	95,602
高・大生	4,479	11,850			
小・中生	7,468	28,918			
計	38,291	52,250			

(平成5年12月6日より平成6年3月31日まで増築工事のため休館)

#### 陳列品購入

水時計(枿)

### 4. 埋蔵文化財センターの研修・指導

#### 研 修

埋蔵文化財の保護に資することを目的として主に地方公共団体の埋蔵文化財保護行政担当者を対象に次の研修を実施した。

- (1) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(保存科学基礎課程)  
1993年4月20日～4月28日(参加者16名)
- (2) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(遺跡探査課程)  
1993年5月11日～5月21日(参加者9名)
- (3) 平成5年度埋蔵文化財担当事務職員特別研修  
(埋蔵文化財基礎課程)  
1993年5月27日～6月4日(参加者33名)
- (4) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(保存科学応用課程)  
1993年6月10日～6月17日(参加者12名)
- (5) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者一般研修  
(一般課程)  
1993年7月6日～8月11日(参加者34名)
- (6) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(文化財写真課程)  
1993年8月17日～9月9日(参加者20名)
- (7) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(遺跡測量課程)  
1993年9月16日～10月15日(参加者19名)
- (8) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(寺院官衙遺跡調査課程)  
1993年10月21日～11月4日(参加者30名)
- (9) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修  
(環境考古課程)  
1993年11月24日～12月10日(参加者22名)
- (10) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(人骨調査課程)  
1994年1月18日～1月26日(参加者22名)
- (11) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(鑄造遺跡調査課程)  
1994年2月3日～2月8日(参加者30名)
- (12) 平成5年度埋蔵文化財発掘技術者特別研修  
(城郭調査課程)  
1994年2月15日～2月22日(参加者30名)

### 研 修 員 一 覧 表

氏 名	所 属	受 入 れ 期 間	受 入 れ 部 局	研 究・研修内容
国 内				
手塚 均	東北歴史資料館 保存科学研究科長	1993. 4. 20～1993. 4. 28 1993. 5. 24～1993. 6. 17	埋蔵文化財センター	保存科学研修
竹田 憲 治	三重県埋蔵文化財センター 調査第一課 主事	1993. 7. 1～1993. 9. 30	平城宮跡発掘調査部	発掘調査研修
筒井 正 明	同 上	1993. 9. 1～1993. 11. 30	藤原宮跡発掘調査部	同 上
藤岡 孝 司	東広島市教育委員会 社会教育課 主任主事	1993. 10. 20～1993. 11. 15	埋蔵文化財センター	考古学研修
竹田 幸 司	仙台市教育委員会 文化財課教諭	1994. 2. 22～1994. 3. 17	同 上	保存科学研修
国 外				
Mohd Kadour	シリアダマスカス国立民族博物館 副館長	1993. 5. 11～1993. 11. 11	埋蔵文化財センター	保存科学研修
鄭 漢 德	大韓民国釜山大学校 教授	1993. 7. 15～1993. 10. 20	同 上	考古学研修

都 東 烈	大韓民国東義工業専門大学 教授	1993. 8. 10~1994. 8. 9	埋蔵文化財センター	考古学研修
Stera Moo	マレーシアサバー博物館 上級学芸員助手	1993. 9. 23~1993. 11. 17	同 上	保存科学研修
IVLIEV Aleksandr L'vovich	ロシア科学アカデミー極東支部 歴史学、考古学、民族学研究所 副所長	1993. 11. 18~1993. 11. 28	同 上	考古学研修
ZHUSHCHIKHOVSKAYA Irina Sergeevna	ロシア科学アカデミー極東支部 歴史学、考古学、民族学研究所 上級研究員	同 上	同 上	同 上
姜 大 一	韓国文化財監理局文化財研究所 保存科学研究室 専門職	1993. 11. 19~1993. 11. 28	埋蔵文化財センター	保存科学研修
林 善 基	韓国文化財監理局文化財研究所 保存科学研究室 研究員	同 上	同 上	同 上
宋 必 潤	韓国文化財監理局文化財研究所 遺蹟研究室 研究員	1993. 11. 22~1994. 1. 21	平城宮跡発掘調査部	考古学研修
姜 炯 台	韓国文化財研究所 研究員	1993. 11. 29~1993. 12. 5	埋蔵文化財センター	保存科学研修
鄭 光 龍	韓国文化財研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
兪 恵 仙	韓国文化財研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
金 奎 虎	韓国湖巖美術館 研究員	1993. 11. 29~1993. 12. 8	同 上	同 上
梁 泌 承	韓国湖巖美術館 研究員	1993. 12. 1~1994. 2. 28	同 上	同 上
烏 恩	中華人民共和国中国社会科学院 考古研究所 副所長	1993. 12. 7~1993. 12. 19	平城宮跡発掘調査部	考古学研修
謝 端 珺	中華人民共和国中国社会科学院 考古研究所原始社会考古研究室 主任	同 上	同 上	同 上
殷 璋 璋	中華人民共和国中国社会科学院 考古研究所商周考古研究室 主任	同 上	同 上	同 上
安 乘 燦	韓国国立中央博物館 保存科学室 研究員	1994. 1. 10~1994. 1. 16	埋蔵文化財センター	保存科学研修
李 容 喜	韓国文化財研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
金 鋪 漢	韓国文化財研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
UNG VON	カンボジア アンコール保存 事務所 保存官	1994. 1. 21~1994. 3. 11	同 上	考古学保存科学研修
TUON PHOK	カンボジア アンコール保存 事務所 現地責任者	同 上	同 上	同 上
KONG SARITH	カンボジア アンコール保存 事務所 現地責任者	同 上	同 上	同 上
CHEY SAM SOVANN	カンボジア カンボジア 国立博物館 修復責任者	同 上	同 上	同 上
Simon Kaner	イギリス ケンブリッジ大学 講師	1994. 2. 23~1994. 3. 25	同 上	考古学研修
Simon Holledge	イギリス ロンドン大学	1994. 3. 1~1994. 3. 28	同 上	同 上
黄 克 忠	中華人民共和国中国文物研究所 副所長	1994. 3. 1~1994. 3. 10	平城宮跡発掘調査部	考古学研修
郭 旃	中華人民共和国中国国家文物局 副研究員	同 上	同 上	同 上
姜 懷 英	中華人民共和国中国文物研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
李 軍	中華人民共和国中国新疆維吾尔 自治区文化庁 助理研究員	1994. 3. 1~1994. 5. 31	同 上	同 上

G.L.Balnes	イギリス ケンブリッジ大学教授	1994. 3. 2～1994. 3. 22	埋蔵文化財センター	仏教遺跡研修
John Morton Coles	イギリス ケンブリッジ大学 終身研究員	1994. 3. 2～1994. 3. 21	同 上	考古学研修
Bryony Coles	イギリス エクセター大学 歴史考古学科 教授	1994. 3. 2～1994. 3. 21	同 上	同 上
Revutskaya Galina Konstantinovana	ロシア科学アカデミーシベリア支部歴史学、考古学、民族学研究所 研究員	1994. 3. 16～1994. 3. 30	同 上	保存科学研修
Shoumakova Elena Vladimirovna	ロシア科学アカデミーシベリア支部歴史学、考古学、民族学研究所 研究員	同 上	同 上	同 上
Alan Saville	イギリス スコットランド国立博物館遺物処理研究部 学芸員	同 上	同 上	仏教遺跡研修
MICHEL TRANET	カンボジア国務次官	1994. 3. 20～1994. 3. 28	同 上	
鄭 桂 玉	韓国国立文化財研究所 研究員	1994. 3. 20～1994. 3. 29	同 上	仏教遺跡研修
金 壽 起	韓国湖巖美術館保存科学研究室 研究員	1994. 3. 21～1994. 3. 28	同 上	同 上
姜 昌 求	韓国湖巖美術館保存科学研究室 研究員	同 上	同 上	同 上
池 健 吉	大韓民国 慶州博物館長	1994. 3. 21～1994. 3. 30	同 上	同 上
金 正 完	大韓民国 扶余博物館 学芸室長	同 上	同 上	同 上
Patricia Vargas Cassanova	チリ 国立チリ大学イースター島 研究所長	1994. 3. 18～1994. 3. 31	同 上	考古学研修
韓 炳 三	韓国文化体育部文化財委員	1994. 3. 28～1994. 3. 31	同 上	仏教遺跡研修

#### 発掘調査・保存・整備・探査指導

(北海道) 手宮洞窟、常呂遺跡、北黄金貝塚、(岩手県) 盛岡城跡、大渡Ⅱ遺跡、柳之御所跡、(宮城県) 多賀城跡、下飯田遺跡、山王遺跡、(秋田県) 秋田城跡、弘田柵跡、(福島県) 慧日寺跡、根岸遺跡、薬師堂石仏、(茨城県) 平沢官衙遺跡、(栃木県) 法界寺跡、下野国分寺跡、(千葉県) 松崎Ⅱ遺跡、(東京都) 大名屋敷跡、(神奈川県) 永福寺跡、(長野県) 石川条里・川田条里遺跡、高梨館跡、(新潟県) 小泊須恵器窯跡群、(富山県) 大境洞窟住居跡、北代遺跡、浜黒崎悪地遺跡、(石川県) 横江荘遺跡、奥原峠遺跡、石動山大宮坊跡、須曾蝦夷穴古墳、鳥越城跡、(岐阜県) 杉崎廃寺、苗木城跡、(静岡県) 勝間田城跡、賤機山古墳、御殿・二之宮遺跡、大知波峠廃寺、横須賀城跡、片山廃寺、(愛知県) 室遺跡、東畑廃寺跡、朝日遺跡、三河国府跡、青塚古墳、(三重県) 夏見廃寺跡、城之越遺跡、縄生廃寺跡、(滋賀県) 紫香楽宮跡、下鈎遺跡、安土城跡、兵主神社庭園、天乞山古墳、上平等館跡、水口城跡、穴太廃寺跡、(京都府) 蟹満寺跡、神童寺跡、恭仁宮跡、物集女車塚古墳、(大阪府) 心合寺山古墳、新池埴輪製作遺跡、金山古墳、下田遺跡、住友銅吹所跡、池上曾根遺跡、(兵庫県) 赤穂城跡、西求女塚古墳、小犬丸遺跡、広渡廃寺、玉丘古墳、塩野古墳、西安田長野遺跡、篠山城跡、日暮遺跡、西条廃寺、箕谷古墳、入佐川遺跡、丁瓢塚古墳、大市山遺跡、飾東1号古墳、年ノ神古墳、(奈良県) ナガレ山古墳、マルコ山古墳、大野寺石仏、酒船石北方遺跡、(鳥取県) 上淀廃寺跡、護伝寺庭園、

梶山古墳、夏谷遺跡、桂見遺跡、南谷大山遺跡、尾高浅山遺跡、不入岡遺跡、(鳥根県) 小野遺跡、後谷Ⅴ遺跡、門遺跡、上長浜貝塚、兵庫遺跡、(岡山県) 備中松山城跡、岡山城跡、大谷1号墳、鬼城山、(広島県) 三ツ城古墳、冠遺跡、西本6号遺跡、(山口県) 大内氏館跡、長登銅山跡、陶陶窯跡、茶白山古墳、(香川県) 讃岐国分寺跡、丸亀城跡、(愛媛県) 葉佐池古墳、久米窪田森元遺跡(3次)、(福岡県) 鴻臚館跡、板付遺跡、王塚古墳、吉武高木遺跡、雀居遺跡、免遺跡、(長崎県) 原の辻遺跡、(熊本県) 若園貝塚、つつじヶ丘横穴群、鞠智城跡、(大分県) 亀塚古墳、ガランドヤ古墳群、小迫辻原遺跡、裝飾古墳、大分元町石仏、安国寺集落遺跡、(佐賀県) 名護屋城跡・陣跡、八藤遺跡、大黒町遺跡、(沖縄県) 識名園、トウバル遺跡、糸数城跡

#### 埋蔵文化財ニュース刊行

第77号 1989年度刊行埋蔵文化財発掘調査報告書に関する情報調査

#### 5. その他

##### 委員会等

第20回飛鳥資料館運営協議会

1993年6月21日 於 飛鳥資料館  
平城・飛鳥藤原宮跡調査整備指導委員会

1993年6月3・4日 於 平城宮跡資料館講堂

## 外国出張

- 白杵 勲 シンポジウム「北太平洋の考古学」参加のため、ロシアへ出張  
1993年4月11日～1993年4月18日
- 松井 章 「アメリカ考古学会第58回大会」出席及びネブラスカ大学において埋蔵文化財に関する調査研究のため、アメリカへ出張  
1993年4月12日～1993年4月25日
- 千田剛道 高句麗・清朝関係遺跡踏査のため、中華人民共和国へ出張  
1993年4月25日～1993年5月4日
- 沢田正昭 火山性凝灰岩を用いて試験片を切り出し、これらを保存材料で硬化しその耐候試験を行うため、チリ・アメリカへ出張  
1993年5月5日～1993年5月19日
- 猪熊兼勝 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張  
1993年5月20日～1993年5月31日
- 松井 章 シンポジウム「人類と海一中世石器時代」参加及び便所土壌の共同研究のため、デンマーク・イギリスへ出張  
1993年6月14日～1993年6月30日
- 工業善通、沢田正昭 天然樹脂塗膜の材質・技法・保存に関する調査研究のため、ドイツへ出張  
1993年7月1日～1993年7月13日
- 上原真人 韓国扶余博物館貸出文化財の随伴のため、大韓民国へ出張  
1993年7月14日～1993年7月20日
- 浅川滋男 雲南省ナシ族母系社会の居住様式と建築技術に関する調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
1993年7月16日～1993年8月11日
- 白杵 勲 ロシア・マガダン州の発掘調査研究のため、ロシアへ出張  
1993年7月20日～1993年8月3日
- 沢田正昭 日韓における考古遺物の材質・技術に関する研究のため、大韓民国へ出張  
1993年7月21日～1993年7月24日
- 松井 章 先史ポリネシア人の拡散と変容に関する自然人類学的研究のため、フィジーへ出張  
1993年7月21日～1993年8月29日
- 杉山 洋 タイ東北部クメール遺跡の調査のため、タイへ出張  
1993年7月25日～1993年7月31日
- 牛川喜幸 ICOMOS シンポジウム参加及びスリランカ仏教遺跡の調査研究のため、スリランカへ出張  
1993年7月29日～1993年8月8日
- 猪熊兼勝 イースター島考古学会出席及びイースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリ・アメリカへ出張  
1993年8月2日～1993年8月21日
- 肥塚隆保 イースター島におけるモアイ石像物保存科学的研究のため、チリへ出張  
1993年8月4日～1993年8月19日
- 沢田正昭 イースター島におけるモアイ石像物保存科学的研究及びICOM保存科学国際会議出席のためチリ・アメリカへ出張  
1993年8月4日～1993年8月31日
- 森本 晋 先史・原始科学国際連合第4部会出席のため、オーストラリアへ出張  
1993年8月7日～1993年8月14日
- 高瀬要一 ヨーロッパにおける遺跡の再生・活用法の研究のため、イギリス・ドイツ・ギリシャへ出張  
1993年8月9日～1993年10月22日
- 鈴木嘉吉、細見啓三 伝統的文化財保存技術の調査研究及び日中文化財建造物保存技術シンポジウム参加のため、中華人民共和国へ出張  
1993年8月19日～1993年8月26日
- 光谷拓実 中国・北朝鮮国境における長白山の噴火時代に関する年輪年代学的研究のため、中華人民共和国へ出張  
1993年8月19日～1993年8月30日
- 西村 康 アメリカ大陸における遺跡探査法の開発の実地調査研究のため、アメリカへ出張  
1993年8月22日～1993年9月5日
- 村上 隆 青銅器の腐食に関する保存科学的調査研究のため、アメリカへ出張  
1993年8月23日～1993年9月2日
- 立木 修、白杵 勲 パジリク文化古墳群に関する共同研究のため、ロシアへ出張  
1993年9月19日～1993年9月26日
- 内田昭人 国際会議「シルクロードに残る古代遺跡の保存」研究発表・出席及びシルクロードに残る古代遺跡の保存状況についての調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
1993年10月1日～1993年10月16日
- 河原純之、猪熊兼勝 文化財交流の現状把握のため、大韓民国へ出張  
1993年10月4日～1993年10月8日
- 小野健吉 遺跡博物館等の調査のため、イタリア・ギリシャへ出張  
1993年10月4日～1993年10月18日
- 小林謙一 遺跡の整備と活用の研究のため、イタリア・ギリシャ・トルコへ出張  
1993年10月4日～1993年10月22日
- 町田 章 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
1993年10月29日～1993年11月6日
- 伊東太作、佐川正敏、小澤 毅 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
1993年10月29日～1993年11月20日
- 猪熊兼勝 アジア史学大会出席のため、大韓民国へ出張  
1993年11月19日～1993年11月24日
- 馬場祐次朗、杉山 洋 アンコール文化遺産保護共同研究の予備調査のため、カンボジアへ出張  
1993年11月23日～1993年11月30日
- 工業善通、沢田正昭、伊東太作 日韓における考古遺物の材質調査とその研究成果の比較研究のため、大韓民国へ出張  
1993年12月7日～1993年12月14日
- 猪熊兼勝 百済文化国際学術会議出席のため、大韓民国へ出張  
1993年12月19日～1993年12月22日
- 猪熊兼勝 イースター島アフ・トンガリキ遺跡の調査のため、チリへ出張  
1993年12月25日～1994年1月11日
- 沢田正昭、肥塚隆保 石像モアイ像の化学的保存処理

のための基礎実験実施のため、チリへ出張  
 1994年1月17日～1994年2月8日  
 工業善通、肥塚隆保 日韓における考古遺物の材質調査とこれまでの研究成果に関する意見交換及び今後の打ち合せのため、大韓民国へ出張  
 1994年2月28日～1994年3月6日  
 沢田正昭 日韓における考古遺物の材質調査とこれまでの研究成果に関する意見交換及び今後の打ち合せのため、大韓民国へ出張  
 1994年3月1日～1994年3月4日  
 毛利光俊彦 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
 1994年3月3日～1994年3月17日  
 大脇 潔、岸本直文、牛嶋 茂 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
 1994年3月3日～1994年3月20日  
 黒崎 直 中国におけるパジリク文化古墳群の調査研究及び資料収集のため、中華人民共和国へ出張  
 1994年3月3日～1994年3月20日  
 町田 章 含元殿跡の保存に関する会議出席のため、中華人民共和国へ出張  
 1994年3月6日～1994年3月12日  
 杉山 洋 アンコール文化遺産保護に関する共同研究のため、カンボジアへ出張  
 1994年3月10日～1994年3月25日  
 本中 真 アンコール文化遺産保護に関する共同研究のため、カンボジア・タイへ出張  
 1994年3月10日～1994年3月21日  
 村上 隆 アンコール文化遺産保護に関する共同研究のため、カンボジア・タイへ出張  
 1994年3月11日～1994年3月19日  
 西村 康 カンボジアにおけるパジリク文化古墳群の調査研究及び資料収集のため、カンボジアへ出張  
 1994年3月11日～1994年3月17日  
 森本 晋 フランスにおけるパジリク関連資料の収集のため、フランスへ出張  
 1994年3月12日～1994年3月21日  
 猪熊兼勝 韓国における仏教遺跡の調査のため、大韓民国へ出張  
 1994年3月16日～1994年3月20日  
 寺崎保広 韓国における仏教遺跡の調査のため、大韓民国へ出張  
 1994年3月21日～1994年3月25日  
 町田 章、館野和己、浅川滋男 伝統的文化財保存技術の調査研究のため、中華人民共和国へ出張  
 1994年3月21日～1994年3月28日  
 西村 康 遺跡探査結果の共同検討のため、アメリカへ出張  
 1994年3月21日～1994年3月30日  
 深澤芳樹 インドネシアにおける仏教及び関連遺跡の調査のため、インドネシアへ出張  
 1994年3月22日～1994年3月29日  
 沢田正昭 モヘンジョダロ遺跡の保存効果に関する技術的評価のため、パキスタンへ出張  
 1994年3月22日～1994年3月30日

### 協力事業等

文化庁では1971年度から特別史跡藤原宮跡の国有化を進めており、1972年度から当研究所が文化庁から支出委任を受けて買取事務を担当しているが、1993年度の状況は下記のとおりである。

区 分	面 積	金 額
1993年度	4,314.88	279,999.568
国有地合計	343,929.98	24,969,158,480

### II 図書及び資料

図 書 142,947冊 (1994. 3. 31)

区 分	種 別	購 入	寄 贈	計
1993年度	和漢書	1,402	5,187	6,589
	洋 書	112	53	165
累 計	和漢書	52,862	82,550	135,412
	洋 書	5,809	1,726	7,535

写 真 522,855 (1993年度末)

### III 研究成果刊行物

#### 1. 1993年度刊行物

名 称	
学 報	第53冊 平城宮朱雀門の復原的研究
史 料	第38冊 梵鐘実測図集成 (下)
報告書等	第39冊 山内清男考古資料6-能登縄文資料-重要文化財旧米谷家住宅修理工事報告書
	飛鳥・藤原宮発掘調査概報23
	1992年度平城宮跡発掘調査部発掘調査概報
	平城宮発掘調査出土木簡概報27
	飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報 (十一)
図 録	四十年の春秋

#### 2. 前年度までの刊行物

##### 奈良国立文化財研究所学報

年度	名 称
1954	第1冊 仏師運慶の研究
	第2冊 修学院離宮の復原的研究
1955	第3冊 文化史論叢
1656	第4冊 奈良時代僧房の研究
1957	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告
1958	第6冊 中世庭園文化史
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告
1959	第8冊 文化史論叢II
	第9冊 川原寺発掘調査報告
1960	第10冊 平城宮跡第一次・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
	第11冊 院の御所と御堂一院家建築の研究一
1961	第12冊 巧匠阿弥陀佛快慶
1962	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊 唐招提寺蔵「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究

1963	第15冊	平城宮発掘調査報告Ⅱ 官衙地域の調査
1963	第16冊	平城宮発掘調査報告Ⅲ 内裏地域の調査
1965	第17冊	平城宮発掘調査報告Ⅳ 官衙地域の調査
	第18冊	小堀遠州の作事
1967	第19冊	藤原氏の氏寺とその院家
1969	第20冊	名物裂の成立
1971	第21冊	研究論集Ⅰ
1973	第22冊	研究論集Ⅱ
1974	第23冊	平城宮発掘調査報告Ⅵ 平城京左京 一条三坊の調査
	第24冊	高山一町並調査報告一
1975	第25冊	平城宮左京三条二坊
	第26冊	平城宮発掘調査報告Ⅶ
	第27冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ
	第28冊	研究論集Ⅲ
	第29冊	木曾奈良井一町並調査報告一
1976	第30冊	五條一町並調査の記録一
1977	第31冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅱ
	第32冊	研究論集Ⅳ
	第33冊	イタリア中部の一山岳集落における 民家調査報告
	第34冊	平城宮発掘調査報告Ⅸ
1978	第35冊	研究論集Ⅴ
	第36冊	平城宮整備調査報告Ⅰ
1979	第37冊	飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅲ
	第38冊	研究論集Ⅵ
1980	第39冊	平城宮発掘調査報告Ⅹ
1981	第40冊	平城宮発掘調査報告ⅩⅠ
1984	第41冊	研究論集Ⅶ
	第42冊	平城宮発掘調査報告ⅩⅡ
	第43冊	日本における近世民家（農家）の系 統的発展
1985	第44冊	平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告
1986	第45冊	薬師寺発掘調査報告
1988	第46冊	平城京右京八条一坊十三・十四坪発 掘調査報告書
	第47冊	研究論集Ⅷ
1990	第48冊	年輪に歴史を読む一日本における古 年輪学の成立一
	第49冊	研究論集Ⅸ
	第50冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅢ
1992	第51冊	平城宮跡発掘調査報告書ⅩⅣ
	第52冊	西隆寺発掘調査報告書

奈良国立文化財研究所史料

年度	名	称
1954	第1冊	南無阿弥陀仏作善集（複製）
1955	第2冊	西大寺叡尊伝記集成
1963	第3冊	仁和寺史料 寺誌編1
1964	第4冊	俊乗坊重源史料集成
1966	第5冊	平城宮木簡1 図版
1967	第6冊	仁和寺史料 寺誌編2
1969	第5冊	平城宮木簡1 解説（別冊）
1970	第7冊	唐招提寺史料1
1974	第8冊	平城宮木簡2 図版・解説

	第9冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅰ
1975	第10冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅱ
1976	第11冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅲ
1977	第12冊	藤原宮木簡1 図版・解説
	第13冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅳ
1978	第14冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅴ
	第15冊	東大寺文書目録第1巻
1979	第16冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅵ
	第17冊	平城宮木簡3 図版・解説
	第18冊	藤原宮木簡2 図版・解説
	第19冊	東大寺文書目録第2巻
1980	第20冊	日本美術院彫刻等修理記録Ⅶ
	第21冊	東大寺文書目録第3巻
1981	第22冊	七大寺巡礼私記
	第23冊	東大寺文書目録第4巻
1982	第24冊	東大寺文書目録第5巻
	第25冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅰ
1983	第26冊	東大寺文書目録第6巻
1984	第27冊	木器集成図録一近畿古代編一
1985	第28冊	平城宮木簡4 図版・解説
	第29冊	興福寺典籍文書目録第1巻
1988	第30冊	山内清男考古資料1 真福寺貝塚資料他
	第31冊	平城宮出土墨書土器集成Ⅱ
1989	第32冊	山内清男考古資料2
1991	第33冊	山内清男考古資料3
	第34冊	山内清男考古資料4
	第35冊	山内清男考古資料5
1992	第36冊	木器集成図録一近畿原始編一
	第37冊	梵鐘実測図集成（上）

奈良国立文化財研究所基準資料

年度	名	称
1973	第1冊	瓦編1 解説
1974	第2冊	瓦編2 解説
1975	第3冊	瓦編3
1976	第4冊	瓦編4
	第5冊	瓦編5
1978	第6冊	瓦編6
1979	第7冊	瓦編7
1980	第8冊	瓦編8
1983	第9冊	瓦編9

飛鳥資料館図録

年度	名	称
1976	第1冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏
	第2冊	飛鳥白鳳の在銘金銅仏 銘文篇
1977	第3冊	日本古代の墓誌
1978	第4冊	日本古代の墓誌 銘文篇
	第5冊	古代の誕生仏
1979	第6冊	飛鳥時代の古墳一高松塚とその周辺一
1980	第7冊	日本古代の鷗尾
1981	第8冊	山田寺展
1982	第9冊	高松塚拾年
1983	第10冊	渡来人の寺一檜隈寺と坂田寺一

1984	第11冊	飛鳥の水時計
	第12冊	小建築の世界—埴輪から瓦塔まで—
	第13冊	藤原宮—半世紀にわたる調査と研究—
1985	第14冊	日本と韓国の塑像
	第15冊	飛鳥寺
1986	第16冊	飛鳥の石造物
1987	第17冊	萬葉乃衣食住
	第18冊	壬申の乱
1988	第19冊	古墳を科学する
	第20冊	聖徳太子の世界
1989	第21冊	仏舍利埋納
	第22冊	法隆寺金堂壁画飛天
1990	第23冊	日本書記を掘る
1991	第24冊	飛鳥時代の埋蔵文化財に関する一考察
	第25冊	飛鳥の源流
1992	第26冊	飛鳥の工房

#### IV 定員

区分	指定職	行政職(一)	行政職(二)	研究職	計
1993年度	1	22	2	61	86
1994年度	1	22	1	62	86

#### V 予算 (1993年度)

人件費	694,065千円
運営費	1,106,764
事業管理	7,374
一般研究	60,346
特別研究	270,005
発掘調査	541,695
宮跡整備管理	72,337
飛鳥資料館運営	52,666
埋蔵文化財センター運営	50,345
本庁舎維持管理等経費	27,634
飛鳥藤原宮跡発掘調査部運営	24,362
施設費	641,397
施設整備費	18,268
平城宮跡等整備費	605,857
各所修繕費	17,272
計	2,442,226

#### VI 施設

##### 土地

奈良国立文化財研究所所管	47,890m <sup>2</sup>
本庁舎	8,860m <sup>2</sup>
飛鳥藤原宮跡発掘調査部	20,515m <sup>2</sup>
飛鳥資料館	17,092m <sup>2</sup>
郡山宿舎(二)	80m <sup>2</sup>
飛鳥資料館宿舎	1,343m <sup>2</sup>
文化庁所管(関係分)	1,432,252m <sup>2</sup>
平城宮跡地区	1,083,281m <sup>2</sup>
藤原宮跡地区	343,930m <sup>2</sup>
飛鳥稲淵宮殿跡地区	5,041m <sup>2</sup>

#### 建 物

29,795m<sup>2</sup>

##### 1. 庁舎

29,357m<sup>2</sup>

区分	本庁舎	平城	藤原	飛鳥資料館	藤原宮跡	計
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
事務室	568	122	197	90		977
研究・整理室	1,419	2,216	1,205	77		4,917
資料・図書室	1,021		383	36		1,440
会議室	338		129	42		509
講堂		384	210	89		683
展示室		845	254	648		1,747
写真室	79	256	149	64		548
遺構展示室		1,408				1,408
車庫・庫	84	968	352	94		1,498
倉庫・収蔵庫	123	5,210	2,041	480		7,854
研修棟	1,416					1,416
その他	1,673	2,084	1,506	1,061	36	6,360
計	6,721	13,493	6,426	2,681	36	29,357

##### 2. 宿舎等

438m<sup>2</sup>

重要文化財旧米谷家住宅

213m<sup>2</sup>

飛鳥資料館宿舎

225m<sup>2</sup>

#### 主要工事

- (1) 平城宮跡地等整備費 千円
- 平城宮跡朱雀門復原平成5年度工事 1,620,036
  - 平城宮跡東院復原平成5年度工事 955,623
  - 平城宮跡式部省地区等整備工事 93,730
  - 平城宮跡宮内省地区防災施設整備工事 38,985
  - 平城宮見学者用便所改修工事 16,232
  - 平城宮跡内高圧電気整備等改修工事 25,750
  - 平城宮跡緑陰帯造成整備工事 25,956
  - 藤原宮跡環境整備工事 109,077
- (2) 施設整備費
- \* 飛鳥資料館展示棟増築等工事 871,709
  - 平城宮跡遺物解析・処理棟新営工事 171,392
  - 平城宮跡第5収蔵庫新営工事 688,796
  - \* 奈良国立文化財研究所空調改修工事 58,710
  - \* 奈良国立文化財研究所屋根改修工事 64,993
- (3) その他
- (官庁営繕費・各所修繕・国有文化財保存整備費)
  - \* 奈良国立文化財研究所遺構展示棟改修工事 144,200
  - 飛鳥資料館高圧受電ケーブル等改修工事 14,935
  - 重要文化財旧米谷家住宅改修工事 2,472
- \* は建設省支出委任工事

#### VII 人事異動 (1993. 4. 1~1994. 3. 31)

- 4月1日 埋蔵文化財センター長に昇任 河原 純之  
 庶務部会計課長に昇任 萩原 寿郁  
 庶務部会計課課長補佐に昇任 福田 八郎  
 庶務部会計課専門職員に昇任 坂上 定敬  
 庶務部会計課用度係用度主任に昇任 森 昭彦  
 文部技官(平城宮跡発掘調査部考古第一調査室長)に採用 小林 謙一  
 文部技官(平城宮跡発掘調査部考古第三調査室)に採用 次山 淳



事務補佐員（庶務部会計課）に採用  
幸田恵里子  
技能補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用  
松本 誠  
研究補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用  
荒木 浩司  
研究補佐員（飛鳥藤原宮跡発掘調査部）に採用  
伊藤敬太郎  
平城宮跡発掘調査部史料調査室長に昇任  
館野 和己  
飛鳥藤原宮跡発掘調査部遺構調査室長に配置換  
金子 裕之  
平城宮跡発掘調査部主任研究官に配置換  
山岸 常人  
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換  
松本 修自  
飛鳥藤原宮跡発掘調査部主任研究官に配置換  
佐川 正敏  
国立歴史民俗博物館歴史研究部教授に転任  
佐原 真  
奈良女子大学家政学部教授に転任  
上野 邦一  
京都大学経理部主計課課長補佐に転任  
小野 祐治  
大阪大学施設部建築課建築第四掛長に転任  
阪本 勇  
京都大学医学部経理掛に転任 松本 正典  
7月1日 平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任  
小池 伸彦  
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任  
小澤 毅  
平城宮跡発掘調査部主任研究官に昇任  
森 公章  
埋蔵文化財センター研究指導部主任研究官に昇任  
森本 晋  
8月27日 退職 林 和子  
10月1日 文部技官（平城宮跡発掘調査部考古第一調査室）に採用 加藤 真二  
文部技官（平城宮跡発掘調査部遺構調査室）に採用 長尾 充  
事務補佐員（庶務部庶務課）に採用 毛利 友美  
東京国立文化財研究所国際文化財保存修復協力室主任研究官に転任 松本 修自  
金沢大学文学部講師に転任 中村 慎一  
12月20日 技術補佐員（庶務部会計課）に採用 中埜 博  
2月15日 事務補佐員（庶務部会計課）に採用 吉田 昌代  
2月28日 退職 毛利 友美  
退職 米田 淳子  
3月31日 退職 鈴木 嘉吉  
退職 小菅 康男  
退職 岡田 博无  
退職 細見 啓三  
退職 巽 月子

## VIII 組織規定

### 文部省組織令（抜粋）

昭和59年6月28日 政令第227号

#### 第2章 文化庁

##### 第3節 施設等機関

（施設等機関）

第108条 文化庁長官の所轄の下に、文化庁に国立国語研究所を置く。

2 前項に定めるもののほか、文化庁に次の施設等機関を置く。

（中略）

国立文化財研究所

（国立文化財研究所）

第114条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行う機関とする。

2 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

3 国立文化財研究所及びその支所の名称、位置及び内部組織は文部省令で定める。

### 文部省設置法施行規則（抜粋）

昭和28年1月13日 文部省令第2号

#### 第5章 文化庁の施設等機関

##### 第4節 国立文化財研究所

###### 第1款 名称及び位置

（名称及び位置）

第116条の9 国立文化財研究所の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東京都台東区
奈良国立文化財研究所	奈良県奈良市

###### 第2款 奈良国立文化財研究所

（所長）

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は、所務を掌理する。

（内部組織）

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務部、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部及び飛鳥藤原宮跡発掘調査部を置く。

2 前項に定めるもののほか、奈良国立文化財研究所に、飛鳥資料館及び埋蔵文化財センターを置く。

（庶務部の分課及び事務）

第125条 庶務部に、次の二課を置く。

一 庶務課

二 会計課

2 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 職員の人事に関する事務を処理すること。

二 職員の福利厚生に関する事務を処理すること。

三 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

四 この研究所の所掌事務に関し、連絡調整すること。

五 この研究所の所掌に係る遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。

六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しな

- い事務を処理すること。
- 3 会計課においては、次の事務をつかさどる。
- 一 予算に関する事務を処理すること。
  - 二 経費及び収入の決算その他会計に関する事務を処理すること。
  - 三 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
  - 四 庁舎及び設備の維持、管理に関する事務を処理すること。
  - 五 庁内の取締りに関すること。

第126条 削除

(建造物研究室等の事務)

第127条 建造物研究室においては、建造物及び伝統的建造物群に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

- 2 歴史研究室においては、考古及び史跡並びに歴史資料に関する調査研究を行い、並びにその結果の公表を行う。

(平城宮跡発掘調査部の六室及び事務)

第128条 平城宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、考古第三調査室、遺構調査室、計測修景調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室、考古第二調査室及び考古第三調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(藤原宮跡発掘調査部の四室及び事務)

第129条 飛鳥藤原宮跡発掘調査部に、考古第一調査室、考古第二調査室、遺構調査室及び史料調査室を置く。

- 2 前項の各室においては、藤原宮跡及び飛鳥地域における宮跡その他の遺跡に関し、次項から第5項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行う。
- 3 考古第一調査室及び考古第二調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く。)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。
- 5 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行う。

(飛鳥資料館)

第130条 飛鳥資料館においては、飛鳥地域の歴史的意

義及び文化財に関し、国民の理解を深めるため、この地域に関する考古資料、歴史資料その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供し、あわせてこれらに関する調査研究及び事業を行う。

(飛鳥資料館の館長)

第131条 飛鳥資料館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理する。

(飛鳥資料館の二室及び事務)

第132条 飛鳥資料館に、庶務室及び学芸室を置く。

- 2 庶務室においては、飛鳥資料館の庶務、会計等に関する事務を処理する。

- 3 学芸室においては、次の事務をつかさどる。

一 飛鳥地域に関する考古資料、歴史資料、建造物、絵画、彫刻、典籍、古文書その他の資料の収集、保管、展示、模写、模造、写真の作成、調査研究及び解説を行うこと。

二 飛鳥地域に関する図書、写真その他の資料の収集、整理、保管、展示、閲覧及び調査研究を行うこと。

三 飛鳥資料館の事業に関する出版物の編集及び刊行並びに普及宣伝を行うこと。

(埋蔵文化財センター)

第133条 埋蔵文化財センターにおいては、次の事務をつかさどる。

一 埋蔵文化財に関し、調査研究及びその結果の公表を行うこと。

二 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の埋蔵文化財調査関係職員その他の関係者に対して、専門的、技術的な研修を行うこと。

三 埋蔵文化財の調査及び保存整理に関し、地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、専門的、技術的な指導及び助言を行うこと。

四 埋蔵文化財に関する情報資料の作成、収集、整理、保管及び調査研究を行い、並びに地方公共団体の機関その他関係の機関及び団体等の求めに応じ、その利用に供すること。

(埋蔵文化財センターの長)

第134条 埋蔵文化財センターに長を置く。

- 2 前項の長は、埋蔵文化財センターの事務を掌理する。

(埋蔵文化財センターの内部組織)

第135条 埋蔵文化財センターに、教務室、研究指導部及び情報資料室を置く。

(教務室の事務)

第136条 教務室においては、研修の実施に関する事務を処理するほか、埋蔵文化財センターの庶務に関する事務をつかさどる。

(研究指導部の六室及び事務)

第137条 研究指導部に、考古計画研究室、集落遺跡研究室、発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学研究室を置く。

- 2 考古計画研究室においては、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(他の室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

3 集落遺跡研究室においては、集落遺跡に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務(発掘技術研究室、遺物処理研究室、測量研究室及び保存工学

研究室の所掌に属するものを除く。)をつかさどる。

4 発掘技術研究室においては、遺跡の発掘技術に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

5 遺物処理研究室においては、遺物の処理に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

6 測量研究室においては、埋蔵文化財の測量に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

7 保存工学研究室においては、遺跡の保存整備に関し、第133条第1号から第3号までに掲げる事務をつかさどる。

(情報資料室の事務)

第138条 情報資料室においては、第133条第4号に掲げる事務をつかさどる。

(客員研究員)

第139条 奈良国立文化財研究所に客員研究員を置くことができる。

2 客員研究員は、所長の命を受け、奈良国立文化財研究所において行う調査研究に参画する。

3 客員研究員は、非常勤とする。

改正	昭和43年6月15日	文部省令第20号
	昭和45年4月17日	文部省令第11号
	昭和48年4月12日	文部省令第6号
	昭和49年4月11日	文部省令第10号
	昭和50年4月2日	文部省令第13号
	昭和51年5月10日	文部省令第16号
	昭和52年4月18日	文部省令第10号
	昭和53年4月5日	文部省令第19号
	昭和53年9月9日	文部省令第33号
	昭和55年4月5日	文部省令第14号
	昭和55年6月25日	文部省令第23号
	昭和58年10月1日	文部省令第25号
	昭和59年6月30日	文部省令第37号
	昭和63年4月8日	文部省令第12号

職員 (1994年7月1日現在)

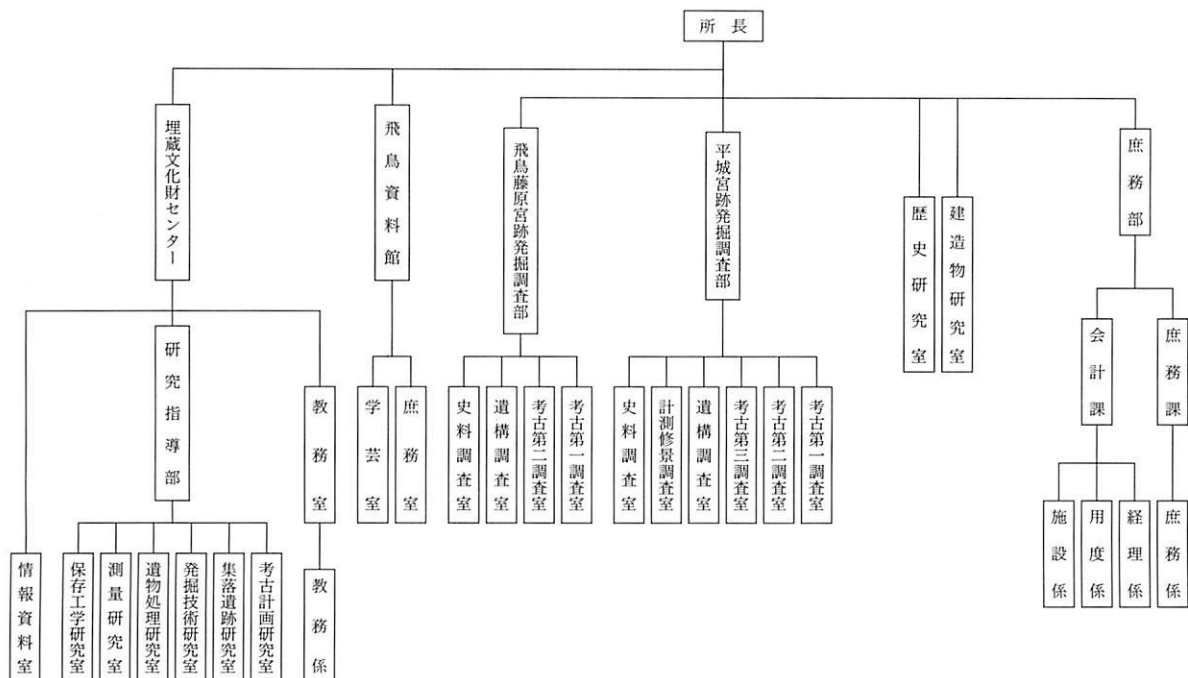
所属	氏名	官職	担当
	田中 琢	文部技官 所長	
庶務課	板垣義信	文部事務官 部長	平城事務 庶務人事 庶務 庶務 庶務 庶務 庶務 図書資料 図書資料 図書資料 公開 保守
	馬場祐次朗	文部事務官 課長補佐	
	田中日出男	文部事務官 課長補佐	
	西田健三	文部事務官 専門職員	
	金野忠司	文部事務官 庶務係長	
	桑原隆佳	文部事務官	
	港悦子	事務補佐員	
	大西和子	事務補佐員	
	穴戸雅子	事務補佐員	
	福本良子	事務補佐員	
	新宮恵子	事務補佐員	
	藤原伊奈美	事務補佐員	
	本中宣代	事務補佐員	
	中川かよ子	事務補佐員	
	中垣睦美	事務補佐員	
	石川千恵子	研究補佐員	
	奥村 功	技能補佐員	
	庶務課	萩原寿都	
福田八郎		文部事務官 課長補佐	
渡邊康史		文部技官 課長補佐	
坂上定敬		文部技官 専門職員	
櫻井雅樹		文部事務官 専門職員	
年梅 徹		文部事務官 経理係長	
北川博之		文部事務官 経理主任	
森本はぎ子		事務補佐員	
小林玉美		事務補佐員	
小林雅文		文部事務官 用度係長	
森 昭彦		文部事務官 用度主任	
飯田信男		文部技官 車庫長	
上村敬子		事務補佐員	
幸田恵里子		事務補佐員	
坂上定敬		文部技官 施設係長(兼任)	
松井敏夫		文部技官 施設主任(命)	
上垣内茂樹		文部技官	
永井和代		事務補佐員	
吉田昌代	事務補佐員		
中 塾 博	技術補佐員		
建造物研究室	天田起雄	文部技官 室長	建築 建築 遺跡庭園 建築 建築
	浅川滋男	文部技官(併任)	
	小野健吉	文部技官(併任)	
	島田敏男	文部技官(併任)	
	藤田盟児	文部技官(併任)	
歴史研究室	綾村 宏	文部技官 室長	歴史 考古 歴史 考古 歴史 考古
	西口壽生	文部技官(併任)	
	橋本義則	文部技官(併任)	
	森本 晋	文部技官(併任)	
	渡邊晃宏	文部技官(併任)	
	白 杵 勲	文部技官(併任)	

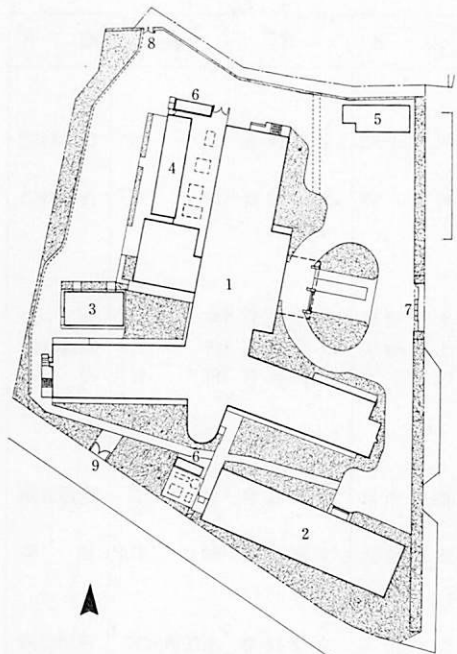
所属	氏名	官職	担当	
平	町田 章	文部技官 部長		
	考古第一調査室	小林謙一	文部技官 室長	考古
		白杵 勲	文部技官	考古
		加藤真二	文部技官	考古
		小池伸彦	文部技官 (併任)	考古
	城	毛利光俊	文部技官 室長 (併任)	考古
		巽淳一郎	文部技官 (併任)	考古
		杉山 洋	文部技官 (併任)	考古
		玉田芳英	文部技官 (併任)	考古
	宮	山崎信二	文部技官 室長 (併任)	考古
		岸本直文	文部技官 (併任)	考古
		岩永省三	文部技官 (併任)	考古
小澤 毅		文部技官 (併任)	考古	
跡	山岸常人	文部技官 室長	建築	
	藤田盟充	文部技官	建築	
	長尾 充	文部技官	建築	
	浅川滋男	文部技官 (併任)	建築	
発	高瀬要一	文部技官 室長	遺跡庭園	
	内田和伸	文部技官	遺跡庭園	
	小野健吉	文部技官 (併任)	遺跡庭園	
	館野和己	文部技官 室長	歴史	
調	寺崎保広	文部技官 (併任)	歴史	
	渡邊晃宏	文部技官 (併任)	歴史	
	巽淳一郎	文部技官 主任研究官	考古	
	寺崎保広	文部技官 主任研究官	考古	
	岩永省三	文部技官 主任研究官	考古	
	杉山 洋	文部技官 主任研究官	考古	
	小野健吉	文部技官 主任研究官	遺跡庭園	
	浅川滋男	文部技官 主任研究官	建築	
	小池伸彦	文部技官 主任研究官	考古	
	小澤 毅	文部技官 主任研究官	考古	
	玉田芳英	文部技官 主任研究官	考古	
	査	渡邊晃宏	文部技官 主任研究官 (併任)	歴史
西田健三		文部事務官	事務	
佃 幹雄		文部技官 専門職員	写真	
井上直夫		文部技官 専門職員	写真	
牛嶋 茂		文部技官 専門職員	写真	
館野和己		文部技官 室長	歴史	
寺崎保広		文部技官 (併任)	歴史	
渡邊晃宏		文部技官 (併任)	歴史	
巽淳一郎		文部技官 主任研究官	考古	
寺崎保広		文部技官 主任研究官	考古	
岩永省三		文部技官 主任研究官	考古	
杉山 洋		文部技官 主任研究官	考古	
小野健吉	文部技官 主任研究官	遺跡庭園		
浅川滋男	文部技官 主任研究官	建築		
小池伸彦	文部技官 主任研究官	考古		
小澤 毅	文部技官 主任研究官	考古		
玉田芳英	文部技官 主任研究官	考古		
渡邊晃宏	文部技官 主任研究官 (併任)	歴史		
西田健三	文部事務官	事務		
佃 幹雄	文部技官 専門職員	写真		
井上直夫	文部技官 専門職員	写真		
牛嶋 茂	文部技官 専門職員	写真		

所属	氏名	官職	担当	
飛鳥	牛川喜幸	文部技官 部長		
	考古第一調査室	黒崎直樹	文部技官 室長 (併任)	考古
		深澤芳樹	文部技官 (併任)	考古
		花谷浩夫	文部技官 (併任)	考古
		井上直夫	文部技官 (併任)	考古
	鳥	大脇 潔	文部技官 室長 (併任)	考古
		次山 淳	文部技官 (併任)	考古
		西口壽生	文部技官 (併任)	考古
		肥塚隆保	文部技官 (併任)	保存科学
	原	金子裕之	文部技官 室長 (併任)	考古
		上原真人	文部技官 (併任)	考古
		島田敏男	文部技官 (併任)	建築
川越俊一		文部技官 室長 (併任)	考古	
跡	橋本義則	文部技官 (併任)	歴史	
	佐川正敏	文部技官 (併任)	考古	
	西口壽生	文部技官 主任研究官	考古	
	肥塚隆保	文部技官 主任研究官	保存科学	
掘	上原真人	文部技官 主任研究官	考古	
	深澤芳樹	文部技官 主任研究官	考古	
	橋本義則	文部技官 主任研究官	歴史	
	佐川正敏	文部技官 主任研究官	考古	
	花谷浩夫	文部技官 主任研究官	考古	
	島田敏男	文部技官 主任研究官	建築	
	櫻井雅樹	文部事務官 事務総括 (併任)	事務	
	吉岡佐和子	事務補佐員	事務	
	松本 誠	技能補佐員	事務	
	木寅貢志	技能補佐員	自動車運転	
	宮川伴子	研究補佐員	資料整理	
	伊藤 武	研究補佐員	考古	
村田和弘	研究補佐員	考古		
荒木浩司	研究補佐員	考古		
伊藤敬太郎	研究補佐員	考古		
羽鳥幸一	研究補佐員	考古		
部	田中 琢	文部技官 館長 (事務取扱)		
	家村庸夫	文部事務官 室長		
	中西建夫	文部事務官 庶務主任		
	乾 春雄	技能補佐員	保管	
	藤本清	警務補佐員	警務	
	福井敏子	業務補佐員	事務	
	森井恵三子	事務補佐員	事務	
	米川まち子	事務補佐員	事務	
	工楽善通	文部技官 室長	考古	
	岩本圭輔	文部技官 主任研究官	考古	
	千田剛道	文部技官 主任研究官	考古	
	大谷照子	事務補佐員	事務	

所属	氏名	官職	担当		
埋蔵文化指	教務室	河原純之	文部技官 センター長	事務真 写 長 長 長 長 長 長 長 長	
		西影憲二	文部事務官 室長		
		川嶋保夫	文部事務官 教務係長		
	考古計画研究室	岩永恵子	事務補佐員 (併任)		
		牛嶋茂	文部技官 (併任)		
		猪熊兼勝	文部技官 部長		
		松沢亜生	文部技官 室長		
		立木修	文部技官 (併任)		
		集落遺跡研究室	山中敏史		文部技官 室長
			西村康		文部技官 室長
発掘技術研究室	松井章	文部技官 (併任)			

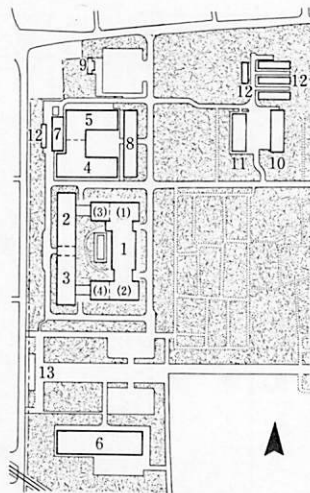
所属	氏名	官職	担当	
財 導 セ ン タ	遺物処理研究室	沢田正昭	文部技官 室長	保存科学
		村上隆	文部技官 (併任)	保存科学
	測量研究室	木全敬蔵	文部技官 室長	測量
		光谷拓実	文部技官 (併任)	遺跡庭園
	保存工学研究室	加藤允彦	文部技官 室長	遺跡庭園
		内田昭人	文部技官 (併任)	建築
	情報処理室	光谷拓実	文部技官 主任研究官	遺跡庭園
		内田昭人	文部技官 主任研究官	建築
		立木修章	文部技官 主任研究官	考古
	情報処理室	松井隆晋	文部技官 主任研究官	保存科学
伊東太作		文部技官 室長	測量	
情報処理室	森本晋	文部技官 (併任)	考古	





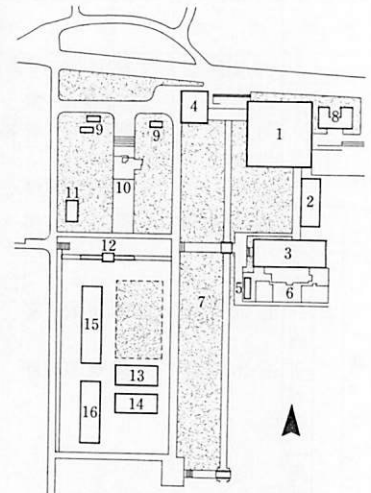
本館配置図

- 1 本館
- 1階 庶務部及び図書資料室
- 2階 所長室及び平城宮跡発掘調査部
- 3階 建造物研究室、歴史研究室及び埋蔵文化財センター
- 2 埋蔵文化財センター研修棟
- 3 研修棟
- 4 機械棟
- 5 車庫
- 6 自転車置場
- 7 正門
- 8 通用門
- 9 非常口



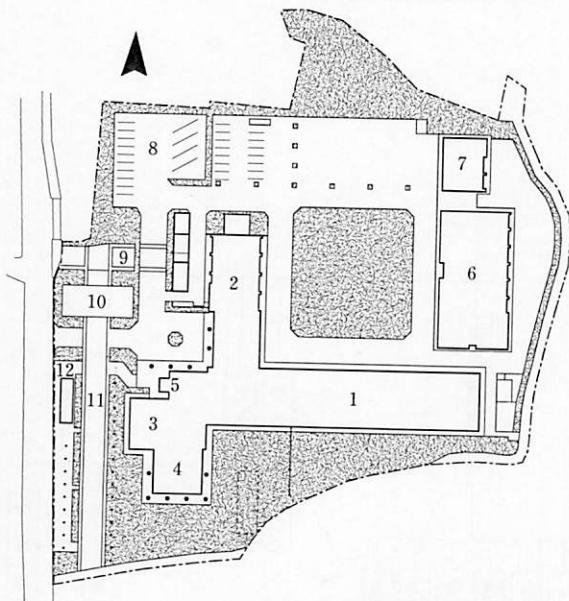
平城宮跡資料館配置図

- 1 平城宮跡資料館
- (1) 展示室 (3) 準備室
- (2) 講堂 (4) 写場
- 2 第1収蔵庫
- 3 第2収蔵庫
- 4 第3収蔵庫
- 5 第4収蔵庫
- 6 第5収蔵庫
- 7 大型遺物処理棟
- 8 遺物解析処理棟
- 9 便所
- 10 整備棟
- 11 資材保管加工棟
- 12 収蔵庫
- 13 佐伯門跡



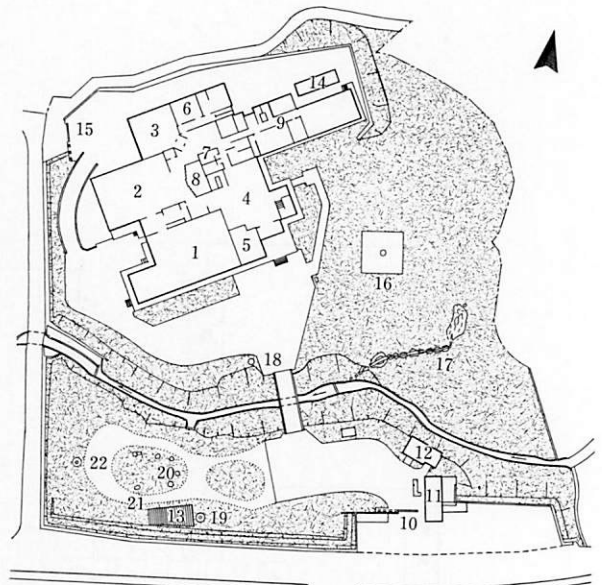
平城宮跡遺構展示館配置図

- 1 遺構展示館
- 2 展示館
- 3 遺構展示館
- 4 管理棟
- 5 築地塀復原
- 6 埴積基壇復原
- 7 東大溝復原
- 8 便所
- 9 バーゴラ
- 10 案内広場
- 11 防災設備室
- 12 宮内省北門・築地塀復原
- 13 宮内省復原建物 (南殿)
- 14 宮内省復原建物 (南殿第2殿)
- 15 宮内省復原建物 (西北殿)
- 16 宮内省復原建物 (西南殿)



飛鳥藤原宮跡発掘調査部配置図

- 1 整理研究棟
- 2 管理棟
- 3 展示室
- 4 講堂
- 5 入口
- 6 収蔵庫棟
- 7 保存科学棟
- 8 駐車場
- 9 六条条間路跡
- 10 建物跡
- 11 東三坊間路跡
- 12 自転車置場



飛鳥資料館配置図

- 1 第1展示室
- 2 第2展示室
- 3 講堂
- 4 ロビー
- 5 リファレンス
- 6 会議室
- 7 便所
- 8 光庭
- 9 管理棟
- 10 正門
- 11 売札所
- 12 屋外展示解説室
- 13 バーゴラ
- 14 機械室
- 15 通用門
- 16 須弥山石
- 17 酒船石
- 18 石人像
- 19 山田寺塔心礎
- 20 猿石
- 21 人頭石
- 22 法輪寺塔心礎

## Table of Contents

	Page
Preface .....	1
Excavations in the Asuka Area .....	2
Excavations in the Fujiwara Palace and Capital Sites .....	5
Excavations in the Nara Palace and Capital Sites .....	15
Revision in the Spatial Designation of Excavation Units for the Asuka and Fujiwara Areas .....	26
Investigation into Roof Tiles of Yamada-dera Temple .....	28
Excavation of Flush Latrine at the Fujiwara Capital .....	30
Introduction of Donated Sue-type Pottery .....	31
Two and Three-colour Glazed Pottery Recovered from Hime-dera Temple in the Nara Capital .....	32
Microscopic Observation on Thin Cut Section of Gold and Silver-Octagonal Lacquer Bar Ware Recovered from Eastern Main Ditch (SD2700) in the Nara Palace .....	33
Inscription and Incision Pottery Recovered from the Nara Palace and Capital Sites .....	34
Wooden Tablets Recovered from the Site of Prince Nagaya's Mansion (2) .....	35
Wooden Tablets Recovered from the Nara Palace and Capital Sites during 1993 .....	36
Catalogue of AZEKURA-SHYOGYO Sutras Owned by Ishiyama-dera Temple .....	38
Investigation of Metal Vessels Owned by Horyu-ji Temple (1) .....	42
Investigation on Japanese Style Modern Historic Buildings in Shiga Prefecture (2) .....	44
Analysis of the Quality of the Material of the Ancient Glass—Alkali Silicate Glass during Yayoi Period .....	46
The Study of the Ancient Metalworking Observed from the Remains of Asuka-ike Site .....	48
Collection of Comparative Stone Sample in order to Identify the Ancient Mining Location (1) — Asuka, Fujiwara Areas and Their Vicinity — .....	49
Dendrochronology (11) .....	53
Analysis of Faunal Remains (10) .....	54
Landscape Architecture of the Nara and Fujiwara Palace Sites .....	55
New Facilities of the Conservation Science Laboratory .....	62
Renovation of Asuka Historical Museum .....	64
Reconsideration of Shoshimon Gate of the Nara Palace .....	66
Construction of the Model of the Former Great Hall of State Area .....	68
Fundamental Study of the Former Great Hall of State Area for Landscape Architecture .....	73
Joint Research for the Restoration of Angkor Cultural Heritage .....	74
Investigation of Jiaohe in China .....	75
Investigation of the Roof Tiles during Shin and Han Dynasties in China .....	78
Investigation on the Restoration and Presentation of Cultural Heritage in Europe .....	79
Public Lectures in 1993 .....	80
Other Special Research <u>Activities</u> .....	81
Organization and <u>Activities</u> of Nabunken during 1993 .....	83